

第130回愛知県農業祭献穀事業 「刈穂祭」を開催します

JAあいち尾東（日進市／代表理事組合長：石黒秀一）は令和4年10月7日（金）に、日進市内の田んぼ（斎田）で、「第130回愛知県農業祭献穀事業」の際に、宮中に献上するお米（あいちのかおり）の稲刈りを行う「刈穂祭」を行います。

今年度の献穀者は、吉田濱一氏が務め、11月の新嘗祭に献上するお米を栽培しました。

献穀事業とは・・・

地域内の「斎田」で収穫されたお米を宮中に上納することで、五穀豊穣を天神地祇に祈り、自然の恵みと勤労に感謝して行われるものです。愛知県では明治25年に豊明村で始まり、現在も続く歴史的・伝統的な事業です。当組合では平成19年以来、15年ぶりに主催します。

同事業は令和4年2月23日の「地鎮祭」に始まり、4月に「播種祭」、5月の「お田植祭」を経てこのたびの「刈穂祭」で収穫し、皇居へ献上します。



播種祭では献穀者・主催者・来賓があいちのかおりの種まきを行いました。

《刈穂祭取材対応について》

令和4年10月7日（金）・午前11時～

《場所》

日進市野方町稻荷地内水田

（JAあいち尾東中部ライスセンター南側）

↑お越しの際はライスセンターの駐車場を御利用下さい。

「刈穂祭」は成熟した稲を収穫します。

「刈穂の儀」では鎌を使い稲刈りを行い、その後の「脱穀の儀」にて刈穂の脱穀を行います。



お田植祭では早乙女が田植を行いました。

《今後の予定》

【選別式】令和4年10月22日（土）午前11時30分～
皇居へ献納するためのお米を選別します。

＜お問い合わせ先＞ ※取材にお越しいただける際にはご一報ください

JAあいち尾東 総務企画部 総合企画課（担当：川本・中川）

TEL：0561-56-0080 FAX：0561-72-8151 E-mail：kikaku@jaab.or.jp



いなぼちゃん おにぎりくん